



第83号

2020. 8. 11

(社)津法人会青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www.tsu-hojinkai.or.jp/seinenbu/index.html>

「部会長メッセージ」

部会員の皆様方におかれましては、平素より津法人会青年部会活動に多大なるご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年、第20代部会長を拝命し、現在は二年目の年となりますが、年初より新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、様々な社会活動が自粛され、私たちの生活、企業活動を脅かしております。一日も早い新型コロナウイルスの収束を願うと共に、皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

さて、このような状況下ですので、今後の津法人会青年部会活動ですが、活動キャッチフレーズ、「わいわいがやがや、わくわくどきどき、令和の時代に広げよう、津法人会青年部会の輪！」を少し変えて活動していきたいと思えます。

一つ目の「わ」である「わいわいがやがや」の部分ですが、会員の皆様が一堂に会して頂けるのが非常に困難な状況を踏まえて、税や事業に関する情報交換を安心して行って頂けるような運営を心掛けて参ります。非常に厳しい状況下ではございますが、引き続き皆様方のご理解、ご協力賜り

ますよう宜しくお願い申し上げます。

また、非常に残念ではございますが、本年度の「全国青年の集い」は中止の運びとなり、「租税教育活動」については活動を見合わせざるを得ない状況となっております。

この点を踏まえて、本年度は、次年度以降の事業活動の糧とすべく、部会員の皆様方とより一層の情報共有に努めると共に、今後の事業の方向性についても検討を進めていきたいと思えます。

世界中が新型コロナウイルスの影響下で苦しんでいる中、我が国がこの状況で踏ん張れているのは、我が国の社会保障システムが機能している部分が大いではないでしょうか？また非常に困難な時だからこそ、税金の大切さ「税金は人を想う気持ち」をより強く感じ取ることができるのではないのでしょうか？今後の租税教育活動が益々大きな意味を持ってくるものと感じている次第です。

それでは、非常に地味な活動が続く一年となりそうですが、何卒宜しくお願い申し上げます。

租税教育活動報告

成美 小学校

令和元年11月12日(火)、本年度最初となる「租税教室」が津市立成美小学校で行われました。ひだまり教室という会場で開催され、5限目の西日がさす暖かな教室で対象児童5年生3クラス、計75名の児童に租税教室を行いました。青年部会からはベテランの方から初めて参加される8名で事業を行いました。先生の教育もあり、児童の授業を受ける姿勢も積極的で、スムーズな流れで行う事が出来ました。一億円の登場には児童のテンションも上がりましたが、高学年ともありシロモチ君の中に入っている人が気になるようです(笑)。本来は義務教育に取り入れるべき小学生にとってお金の勉強はとても大切なことで、改めて「租税教室」の素晴らしさを感じました。今後も回数を重ねて多くの児童にお金や税金の大切さを伝えていければと思います。



桃園 小学校

令和元年11月14日、桃園小学校の5年生は2クラスの61名で租税教室を行いました。

桃園小学校も他校同様に何度も参加している学校で、段取りも素早く対応することができました。体育館2階で行う租税教室はこじんまりしている中で、楽しく行えました。

50名以上ともなると、みんなからの意見や発表など手が挙がる数も多く、講師側としても大変やりやすい学校です。

シロモチくんが登場するとみんなが元気よくハイタッチしていただきました。相変わらず大人気のシロモチくんです。来年度も元気に運用していきたいですね。

市内の小学校でもまだまだお邪魔できていない場所もあるので、これからのPR活動に力を入れていきたいと思っています。



明合 小学校

11月21日、安濃町の明合小学校にて租税教室を開催しました。5年目ということで、校長先生をはじめ、先生方にも大変深いご理解をいただいております。

恵まれた環境での実施となりました。教室で使用するツールも来年度から大きく変更することになり、講師側も緊張しながらの1時間でしたが、税制委員会のみなさんの準備のおかげで、以前にもまして児童たちと充実したコミュニケーションが取り交わされました。



新町 小学校

令和1年12月2日、津市立新町小学校において租税教室を開催しました。この小学校での租税教室も回を重ね、ありがたいことに恒例となりつつあるようで、「オジサンたちがやってきて授業する」ことや「租税教室

の内容」を知っている子供達も居るらしく、少々ネタバレ感も感じながらの授業でした。けれども子供達なりの「付度」のおかげで、今回も楽しく授業を行うことが出来ました。次回からは良い意味で子供達の期待を裏切るような、より楽しく分かりやすい授業を目指して、我々も更なる努力を重ねましょう。



一身田 小学校

令和元年12月10日(火)、今回で6回目となった一身田小学校では、5年生の96名を対象に寒い体育館で開催しましたが子供たちは元気に質問に答えてくれました。津税務署からは、筆頭副署長他2名の方々が見学にお越しいただきました。

改善を繰り返してきたこのプログラムも本年度で最後になりましたが、メンバーは慣れたもので、スムーズに進行することが出来ました。恒例の「シロモチくん」に加えて一身田小学校限定出演の「しん坊くん」も登場し、大いに盛り上がった租税教室となりました。



三重大学 教育学部 附属小学校

令和元年12月13日(金)に、三重大学教育学部附属小学校で租税教室を開催しました。個人的には約30年ぶりの母校への訪問でしたが、児童が大勢いる中で、VTRや税の説明を全員が真剣に聞いている姿を見ることができ、密かに感動しておりました。

クイズにも積極的に参加をする児童が多く、活発な租税教室だったと思います。毎度の如く、一億円とシロモチ君は大人気で、とても盛り上がっていました。最後はシロモチ君と一緒に、全員で記念撮影をして、和やかな雰囲気です、租税教室を終えることができました。



南ヶ丘 小学校

令和元年12月18日(水)、南ヶ丘小学校で租税教室を行いました。多目的ホールに126名の5年生、先生方に集まって頂きました。また、津税務署長他2名の方々にもお越し頂きました。

ホールの広さ、児童の多さに負けないよう、そして津税務署の方々に青年部会の活動を知ってもらえるように、講師役の会員も大きな声を出し、普段より賑やかな租税教室だったと思います。私の子供も、この日の租税教室に参加しており、帰宅後に感想を聞くと「声が大きかった」とのことでした。税についての感想は???



倭 小学校

2月18日、白山町の倭小学校にて租税教室を開催しました。授業前には低学年の皆さんとシロモチ君とのふれあう時間を設け、一緒にジャンプしたり、写真撮影等を行い、喜んでいただきました。5年生のみさんには税のしくみが良く理解いただけたと思いますし、積極的に質問やクイズの回答もあり有意義な時間となりました。

現行の租税教育プログラムが最終となり、来年度から新たな租税教育プログラムへ移行します。より一層プログラムに磨きをかけ、子供たちに税金の大切さや思いやりの心を伝えていければと思います。



租税教育活動

今回も授業中の写真が入った下敷と租税教育用冊子を、市内の小学5年生全員に配布していただけるよう、贈呈させていただきました。





いしきほげみ!

第33回

I T Fテコンドーの「ワールドカップ」に出場してみようと思った。新型コロナウイルスのため延期になったが、2020年10月にスロベニアで開催予定だった。

「ワールドカップ」は毎年開催される。もう一つの世界大会「ワールドチャンピオンシップス」は2年ごとの開催で、日本代表選考などがあり、ごく少数の選手しか出場出来ないが、ワールドカップはシニアクラスなどもあり窓口が広い。

出場したいと思ったのは今年の3月頃の事だった（もちろんシニアクラスでだが）。窓口は広いが、ある程度の実績を作っておかなければと思い、各地で行われる大会に積極的に出場していこうと思った。5月に三重県大会があったが、三重県内での大会は運営側に回ることが多く、この時も実行委員長だった。三重県大会の次は8月に開かれる岐阜県大会だったので、そのシニアクラスにエントリーした。

シニアクラスは36歳以上、型と組手の試合がある。型の試合は体重制限が無いが、組手は体重63kgを境に重量級と軽量級に分かれている。63kgを超えると、上限は無いので体の大きな選手が多い。そうになると技術云々では解決出来ないことも多いので、いつも組手は軽量級にエントリーしている。

大会1週間前の日曜日、バーベルを背負ってスクワットをしていた。それまでに体重を落とし、練習量を増やすことで体も気持ちも作っていた。スクワットは最後の仕上げで、翌日からは軽めの

運動しかしないつもりだった。何回かしていると腰がピキリと鳴った。

翌日、痛みで腰を曲げたままカイロプラクティックに行った。そこの治療は自分によく合う。ただ、一回の治療で治るはずもなく、痛みが和らぐ程度だった。運動は出来ないが食事を摂るので体重が増える。体重に余裕が無かったので、治療と同時にサウナにも通った。

当日の起床時、少し痛みが残っていたので痛み止めを飲んだ。会場は岐阜だったので2時間ほどかかる。7時頃出発して、その間に痛みが消えなければ棄権しようかと考えていたが、計量時には全く痛みが無かった。

11時頃から型の試合があった。痛みは全く無かったが、長く体を動かせば痛くなってくるだろうと思った。勝ち続けることを考え、試合前にも薬を飲んだ。一回戦で負けた。要らぬ心配だった。

午後からは組手だった。14時頃開始だった。全く痛みは無かったが、こちらを念のために薬を飲んだ。こちらは優勝した。飲んだ甲斐があった。16時頃に閉会式が終わってからの帰り道、胃が圧縮されているように痛かった。翌日まで続いて心配だったが、おそらく副作用だったのだろう。

次の大会は11月に行われる東海大会だったが、審判をすることが決まっていたので出場しなかった。2020年の2月から6月頃にかけて、各地で大会が開かれる予定で、いくつかの大会には出るつもりでいたが、新型コロナの影響で全て中止になった。

ワールドカップの中止が決まったのは5月、いつ頃からか中止になるだろうと予想しており、残念な気持ちも沸かなかった。少し気が楽になったのもあった。どうなるかは分からないが、何とか出場してみたい。再挑戦するぞ。